



岩手県ホームページでも  
ご覧いただけます ▼



# 美しい 県土づくりNEWS

2024年

12月

岩手県 県土整備部  
手づくり広報誌第240号  
令和6年12月4日発行  
編集 県土整備企画室

## 目次

- 2 一般国道107号 大石地区 道路災害復旧事業  
(仮称) 大石トンネルの到達式が開催されました!
- 5 一般国道282号(仮称) 佐比内トンネル築造工事  
トンネルの掘削工事を推進しています!
- 8 一般国道397号 小谷木橋 旧橋撤去工事が完了します
- 10 道路インフラメンテナンスに関する取組を実施しました!
- 13 除雪作業に御協力をお願いします!
- 14 「除雪功労者表彰」及び「若手技術者奨励表彰」の  
表彰式を実施しました!
- 15 令和6年度 いわての地域づくり・道づくりを考える大会  
開催
- 17 いわての流域下水道は50周年を迎えました
- 21 いわて花巻空港 スカイフェスタ2024 開催
- 23 いわて花巻空港ターミナルビルエリアにおいて  
自動ロボット草刈機の試験導入を開始!
- 24 いわて建設業みらいフォーラム2024を開催しました
- 26 令和6年度「建設業地域懇談会」を開催しました
- 27 鳥インフルエンザ等発生時対応訓練を実施しました
- 28 建設業担い手育成の取組  
「みやっこタウン」に出展しました!

## 一般国道107号 大石地区 道路災害復旧事業 (仮称) 大石トンネル 西和賀町側からの掘削 完了!



西和賀町側から約1,390m地点  
(トンネル全延長 約1,450m)

### 祝 到達

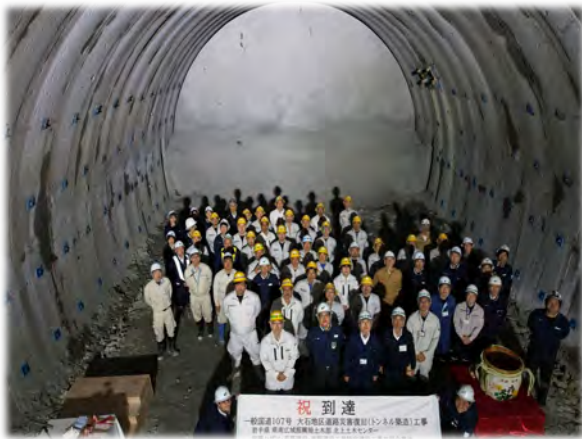
一般国道107号 大石地区道路災害復旧(トンネル築造)工事  
岩手県 県南広域振興局土木部 北上土木センター  
安藤ハザマ・若築建設・東野建設工業特定建設工事共同企業体

# 一般国道107号大石地区道路災害復旧事業 (仮称)大石トンネルの到達式が開催されました！

県南広域振興局土木部 北上土木センター

岩手県では、一般国道107号西和賀町大石地区で令和3年5月に発生した地すべりの災害復旧事業として、トンネル工事を進めています。令和5年7月に西和賀町側から掘削を開始し、総延長約1,450mのトンネルは、令和6年10月1日に約1,390m(約96%)の掘削が完了しました。施工においては、多量の湧水が発生したり、想定より脆弱な地質であったりと困難な状況が幾度もありましたが、計画通り西和賀町側からの掘削が完了し、10月11日に工事受注者主催のもと「到達式」が開催されました！到達式は、工事関係者約50名が出席し、万歳三唱や鏡開きなどを行い、無事故・無災害で西和賀町側からの掘削が無事完了したことを祝いました。

残る約60mの掘削は、令和7年春に反対側(北上市側)から施工する予定としており、引き続き安全第一で早期供用を目指し工事を進めてまいります。



【到達式】到達した切羽の前で集合写真



【到達式】受発注者で鏡開き

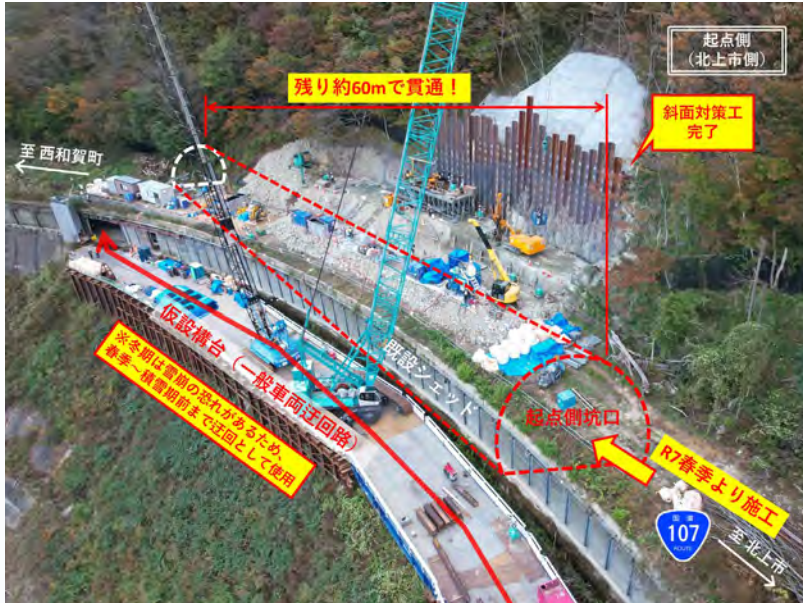


起点部・終点部の今後の施工予定は次ページをご覧ください！

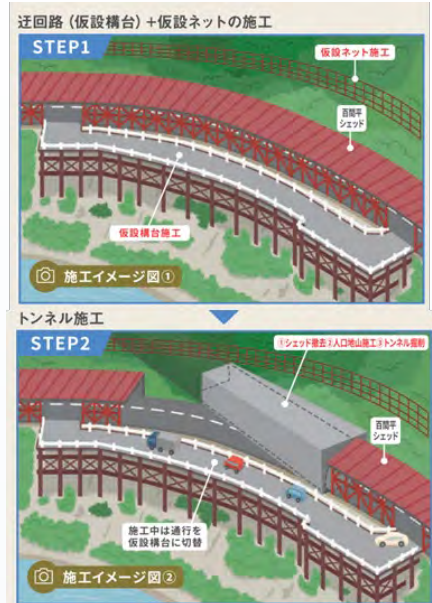
【大石地区道路災害復旧事業の概要と進捗状況】

● 起点側坑口（北上市側）の施工予定について

- ・ トンネルが現道へ接続する箇所の斜面上部に脆弱な地山が確認されたため、今年度は斜面对策工を施工しました。
- ・ 冬期間は雪崩のおそれがあるため一時休工し、令和7年春から、落石・雪崩を防護するシールドを撤去し、トンネル掘削約60mを施工します。
- ・ その際、一般車両はシールドの谷側に設置した仮設構台を通行いただく予定ですので、みなさまの御理解、御協力をお願いします。



【起点側坑口（北上市側）現在の状況と施工予定】



【施工イメージ】

● 終点側坑口（西和賀町側）の施工予定について

- ・ トンネルに入るための橋梁について、下部工は完成しています。
- ・ 上部工の架設は、令和7年春から着手する予定としており、架設する際の仮設構造物（バント基礎）を、11月中旬から施工しています。
- ・ 現道と橋梁をつなぐ道路改良工事も来年春から着手する予定としており、交通規制や仮道への迂回が必要となりますので、皆様の御理解、御協力をお願いします。



【終点側坑口（西和賀町側）現在の状況と施工予定】



【橋梁上部工工場製作中】

# 仮橋カード冬Ver. 絶賛配布中!!

大石地区道路災害復旧事業では、災害復旧事業の情報発信と西和賀町の地域振興を目的として『仮橋カード』を作成し配布しております。令和6年8月10日から配布を開始した夏Ver.は大好評につき予定枚数に達しましたので、配布を終了しました。冬Ver.は12月1日より配布を開始しておりますので、ぜひ西和賀町に足を運んでいただき入手してください！

一般国道107号大石地区道路災害復旧事業

国道107 ROUTE

## 仮橋カードを配布します!

無くなり次第終了

夏Ver. 令和6年8月10日～

冬Ver. 令和6年12月1日～

大好評につき夏Ver.配布終了

絶賛配布中!

カードを傾けるとその時期の名所の写真に変わります!

令和3年5月に地すべりにより通行止めとなった一般国道107号大石地区では、本復旧の工事が完了するまでの間、う回路として国内最大級の仮橋を架設し、令和4年11月に供用を開始いたしました。岩手県では、大石地区災害復旧事業を知っていただくとともに、西和賀町の魅力等を広く発信するため、仮橋カードを作成しました。下記のとおり西和賀町の2施設で配布しますので、ぜひご覧ください。

2種類 一般国道107号大石地区の仮橋

配布場所

② 湯夢プラザ 西和賀町  
観光案内所窓口  
配布時間：9:00～17:00  
和賀郡西和賀町川尻40地割73-11

① 道の駅 錦秋湖  
売店 レジ付近  
配布時間：9:00～17:00  
和賀郡西和賀町杉名畑44地割264

北上市

レジまたは案内所のスタッフにお声がけください!

岩手県南広域振興局土木部北上土木センター  
〒024-8520 岩手県北上市芳町2-8 TEL: 0197-65-2738 (担当: 道路環境課道路環境第2チーム)

仮橋カードの詳細は以下の岩手県ホームページをご覧ください。  
トップページ> 県南広域振興局 > 北上土木センター > 一般国道107号西和賀町大石地区における道路法面等の変状  
URL: [https://www.pref.iwate.jp/kennan/kita\\_doboku/1043165/index.html](https://www.pref.iwate.jp/kennan/kita_doboku/1043165/index.html)

# 一般国道282号(仮称)佐比内トンネル築造工事 トンネルの掘削工事を推進しています！

盛岡広域振興局土木部 岩手土木センター

岩手県が八幡平市赤平地区で整備を進めている一般国道282号(仮称)佐比内トンネル築造工事について、令和6年5月に現地に着手し、希少種の移植やヤードの整備等トンネル掘削の準備を進め、9月には安全祈願祭を開催し、10月下旬から本格的な掘削作業に着手しました。



終点側坑口部



令和6年5月8日時点



令和6年11月1日時点

全体延長	760m
全体事業費	29億円
道路規格	第3種 第3級
設計速度	60km/h
主要構造物	(仮称)佐比内トンネル 延長210m
道路幅員	12.0m (2.50+1.75+3.00+3.00+1.75)

令和6年5月には、現地に自生している希少種の食草等について、工事の影響のない範囲に移植をしながら、仮設備設置のためのヤード造成を行うなど現地へ着手し、本格的なトンネル掘削の準備を始めました。



希少種移植状況（令和6年5月13日）



ヤード造成状況（令和6年6月14日）

令和6年9月6日には、工事受注者であるピーエス・コンストラクション株式会社・株式会社近江建設特定共同企業体主催の**安全祈願祭を開催**しました。

地元選出県議会議員、八幡平市、工事関係者約40人が出席し、鍬入れ等の神事を行った後、盛岡広域振興局長から発注者代表あいさつ、八幡平市長から祝辞があり、出席者全員で工事の無事故・無災害での早期完成を祈願しました。



早期完成に向けて、  
全力で取り組んで行く。

無事故で竣工を  
迎えられるように。

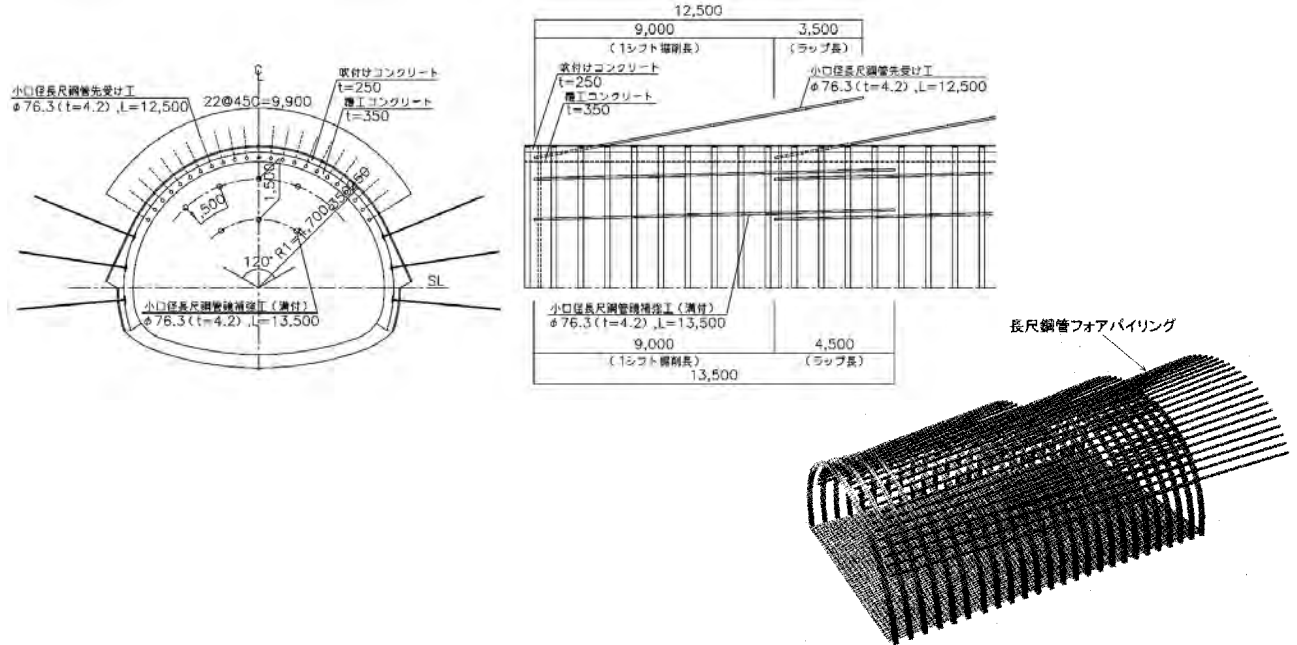


発注者代表挨拶：盛岡広域振興局 小野寺局長



祝辞：八幡平市 佐々木市長

令和6年10月下旬には、**終点側から本格的なトンネル掘削作業に着手し**、事前調査の想定通り、坑口部の崖錐堆積層(未固結層)の存在が確認されました。自然体での切羽の自立が困難であることから、作業の安全に配慮し、先受補強工法や鏡補強工法を実施しながら、施工を進めました。



坑口部の掘削状況 (10月24日)



切羽状況 ~崖錐堆積層~ (10月24日)

現在は、想定より硬い凝灰岩が露岩し、坑口へ防音扉を設置するまで重機による掘削を予定していましたが、ブレイカーの歯が立たないため、部分的に発破工法も活用しながら、掘削を進めています。



掘削状況：坑口から20m地点 (11月12日)



切羽状況：坑口から21m地点 (11月12日)

# 一般国道397号 小谷木橋 旧橋撤去工事が完了します

県南広域振興局土木部

一般国道397号「新小谷木橋」が令和3年5月31日に開通したことに伴い着手した小谷木橋の旧橋撤去工事が、令和6年度で完了を迎えます。



【河川流水部で行った橋脚撤去工事】



位置図



新小谷木橋供用開始直後の様子

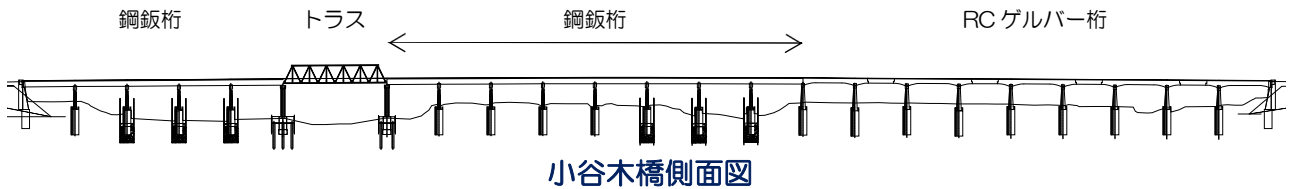
小谷木橋は架橋から70年近く経過し、老朽化が著しいほか、東日本大震災の約1か月後の余震により橋脚が傾き、4か月の全面通行止めとなりました。当時は、下部構造が水中や土中で詳細な状況が確認できないこともあり、橋脚基礎で変状が発生した原因を完全に特定することができませんでした。

今回の工事では、下部構造の当時の損傷状況等を直接確認できる状態となることから、国土技術政策総合研究所及び国立研究開発法人土木研究所にも御協力いただき、調査と並行しながら撤去作業を進めてきました。



小谷木橋上部工は、主に鋼鈹桁及びRCゲルバー桁により構成されており、それぞれ、クレーンによる吊り上げ撤去、大型ブレーカーによる取壊しを行いました。

また、下部工の撤去は、ワイヤーソーで切断・分割してからクレーンで吊り上げ、また、鋼矢板の仮締切内でブレーカーにより破砕等を行いながら進めました。部材や施工箇所により最適な工法を採用し、河川区域内で作業可能な非出水期内の作業完了に努めました。



クレーンによる鋼鈹桁の吊り上げ撤去



大型ブレーカーによるRCゲルバー桁の取壊し



河川流水部での仮設工の設置状況



仮締切内での橋脚基礎取壊し



国総研、土研による現地調査



橋脚撤去後の状況（A1橋台からA2橋台を望む）

# 道路インフラメンテナンスに関する取組を実施しました！

～道路インフラメンテナンスの理解向上と土木技術者の担い手の確保・育成を推進～

## 道路環境課

岩手県が管理する橋梁（約2,700橋）のうち、建設後50年以上経過する橋梁の割合は、現在約4割ですが、20年後には約8割と急激に上昇する見込みであり、老朽化対策が重要な課題です。

そのため、県ではインフラメンテナンスに関する更なる理解向上と土木技術者の担い手の確保・育成を目的に、令和元年度から「高校との協働による橋梁点検」、令和4年度から高校生を対象とした「道路インフラメンテナンス工事現場見学会」、令和5年度から高校生を対象とした「道路インフラメンテナンス勉強会」を開催しています。

今年度も、土木系の学科を有する5校との「道路インフラメンテナンス工事現場見学会」及び「道路インフラメンテナンス勉強会」の取組を実施しましたので、紹介します。

### 高校との協働による橋梁点検の実施状況

年度	対象高校	実施年月日		
		現地点検	健全性診断	報告会
R1	①盛岡工業高校 土木科3年生(9人)	R1.11.21	R1.12.19	R2.2.7
R2	①盛岡工業高校 土木科3年生(7人)	R2.12.18	R3.1.28	R3.2.10
	②久慈工業高校 建設環境科2年生(8人)	R2.11.25	R3.1.20	R3.2.19
R3	①盛岡工業高校 土木科3年生(8人)	R3.12.9	R4.1.21	R4.2.21
	②久慈工業高校 建設環境科2年生(7人)	R3.11.25	R4.1.19	R4.3.29
	③黒沢尻工業高校 土木科3年生(5人)	R3.9.27	R3.12.13	R4.2.8
	④一関工業高校 土木科3年生(7人)	R3.10.29	R3.12.23	R4.1.25
R4	①盛岡工業高校 土木科3年生(8人)	R4.11.25	R5.1.20	R5.2.9
	②久慈工業高校 建設環境科2年生(5人)	R4.11.17	R5.1.18	R5.2.16
	③黒沢尻工業高校 土木科3年生(8人)	R4.10.31	R4.12.19	R5.2.3
	④一関工業高校 土木科3年生(6人)	R4.12.13	R5.1.24	R5.2.13
	⑤花巻農業高校 環境科学科3年生(5人)	R4.11.7	R4.12.21	R5.1.27
R5	①盛岡工業高校 土木科3年生(6人)	R5.11.24	R6.1.12	R6.2.14
	②久慈工業高校 建設環境科2年生(2人)	R5.11.28	R6.1.11	R6.2.16
	③黒沢尻工業高校 土木科3年生(6人)	R5.11.6	R5.12.4	R6.2.13
	④一関工業高校 土木科3年生(6人)	R5.11.20	R6.1.26	R6.2.9
	⑤花巻農業高校 環境科学科3年生(9人)	R5.11.27	R5.12.20	R6.1.22
R6(予定)	①盛岡工業高校 土木科3年生(6人)	R6.9.27	R6.11.22	R6.12.20
	②久慈工業高校 建設環境科2年生(4人)	R6.9.19	R6.10.31	R6.12.19
	③黒沢尻工業高校 土木科3年生(5人)	R6.10.31	R6.12.9	R7.2.13
	④一関工業高校 土木科3年生(6人)	R6.12.2	R7.1.20	R7.2.12
	⑤花巻農業高校 環境科学科3年生(8人)	R6.10.8	R6.11.5	R6.12.17

### 道路インフラメンテナンス工事現場見学会の実施状況

年度	対象高校	実施年月日
R4	盛岡工業高校 土木科(1年生:39人)	令和4年10月25日
	久慈工業高校 建設環境科(1年生:4人、2年生:10人)	令和4年6月22日
	黒沢尻工業高校 土木科(1年生:20人)	令和4年10月12日
R5	一関工業高校 土木科(1年生:39人)	令和4年7月13日
	花巻農業高校 環境科学科(1年生:25人)	令和4年10月6日
	盛岡工業高校 土木科(1年生:22人)	令和5年10月25日
R6	久慈工業高校 建設環境科(1年生:5人、2年生:4人)	令和5年7月19日
	黒沢尻工業高校 土木科(1年生:16人)	令和5年10月6日
	一関工業高校 土木科(1年生:23人)	令和5年9月20日
R7	花巻農業高校 環境科学科(1年生:18人)	令和5年9月27日
	盛岡工業高校 土木科(1年生:36人)	令和6年10月30日
	久慈工業高校 建設環境科(1年生:11人、2年生:5人、3年生:4人)	令和6年8月21日
R8	黒沢尻工業高校 土木科(1年生:24人)	令和6年10月18日
	一関工業高校 土木科(1年生:34人)	令和6年10月2日
	花巻農業高校 環境科学科(1年生:15人)	令和6年10月9日

### 道路インフラメンテナンス勉強会の実施状況

年度	対象高校	実施年月日
R5	盛岡工業高校 土木科(3年生:22人)	令和5年10月23日
	久慈工業高校 建設環境科(2年生:2人)	令和5年9月28日
	黒沢尻工業高校 土木科(2年生:20人、3年生6人)	令和5年10月30日
	一関工業高校 土木科(2年生:33人)	令和5年9月27日
	花巻農業高校 環境科学科(2年生:22人)	令和5年10月17日
R6	盛岡工業高校 土木科(3年生:38人)	令和6年11月14日
	久慈工業高校 建設環境科(2年生:3人)	令和6年9月11日
	黒沢尻工業高校 土木科(2年生:16人)	令和6年10月30日
	一関工業高校 土木科(1年生:31人)	令和6年11月18日
R7	花巻農業高校 環境科学科(2年生:9人)	令和6年11月6日



岩手県の道路インフラメンテナンスの取組

岩手県 県土整備部 道路環境課

見学会では、はじめに**老朽化対策が本格化された経緯や取組**などのインフラメンテナンスについての説明を行い、その後実際の施設を見ながら**老朽化が進んだ施設の補修の進め方**について学んでいただきました。

また、生徒の皆さんには、**高所作業車に乗って橋梁の損傷の様子の確認や、コンクリートひび割れの注入作業、塗膜剥離作業の模擬体験**をしてもらい、さらには**タブレットを活用した重機シミュレータによる重機操作体験やARによる三次元モデルと現実風景のマッチング体験**などの新技術を体験することで、**インフラメンテナンス全体に興味を持っていただいた様子**でした。

重機シミュレータによる重機操作体験



盛岡工業高校（令和6年10月30日）

劣化したコンクリートのひび割れ注入作業を体験



久慈工業高校（令和6年8月21日）

塗膜剥離作業の模擬体験



黒沢尻工業高校（令和6年10月18日）

ARによる三次元モデルと現実風景のマッチング体験



一関工業高校（令和6年10月2日）

高所作業車に乗り、床版の状態を確認



花巻農業高校（令和6年10月9日）



また、勉強会では、クイズを交えながら、**老朽化対策が本格化された経緯や取組、老朽化が進んだ橋梁の補修事例**についても勉強しました。

参加した生徒からは「点検がしやすい橋は?」「補修工事にはどのくらいお金がかかるの?」「工事の期間はどのくらい?」などのメンテナンスに関わる質問や「仕事をしていてやりがいを感じることは?」などの質問をいただき、**インフラメンテナンスの理解を深めるとともに、将来の土木技術者の担い手として、興味を持っている様子**でした。

道路インフラメンテナンス勉強会の様子



盛岡工業高校（令和6年11月14日）



久慈工業高校（令和6年9月11日）



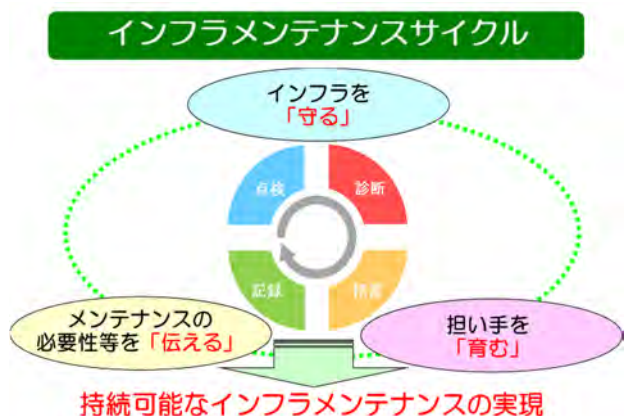
黒沢尻工業高校（令和6年10月30日）



一関工業高校（令和6年11月18日）



花巻農業高校（令和6年11月6日）



# 除雪作業に御協力をお願いします！

道路環境課

岩手県では、冬期間の安全で円滑な道路交通を確保するため、県が管理している道路の除雪作業を行っています。作業をスムーズに行えるよう、皆さまの御協力をお願いいたします。



### 門口除雪に御協力を！

各商店・各家庭から道路へ出る**門口に寄せられた雪**については、各家庭・御近所等で**除雪の御協力**をお願いいたします。

### 道路への雪出しはやめましょう！

道路への雪出しは、**路面凍結**の原因となるほか、路面が凸凹になり非常に危険で、**交通事故**や**渋滞**の原因にもなります。

### 深夜・早朝作業にご理解を！

除雪作業は、朝の通勤・通学に間に合うよう、主に交通量の少ない夜間や早朝に行います。作業中は騒音・振動等で御迷惑をおかけしますが、御理解くださるようお願いいたします。

### 路上駐車はやめましょう！

路上駐車は、**除雪作業の妨げ**となります。また、**車の乗り入れ板**や**看板**等も障害物となり、危険です。



### 除雪車に注意！！

- 除雪作業は安全第一で行っています。**作業中の除雪車は大変危険**ですので、近づかないでください。
- 除雪車は場合によって、道路のセンターラインを越えて作業をすることがあります。車等で走行する際も御注意ください。

### 路面凍結に注意！！

- 路面凍結により通行に支障がある場合又は支障になると予想される場合に、凍結抑制剤を散布していますが、**気象条件等により路面が凍結している場合がありますので、通行の際は、十分に注意してください。**

＜お問い合わせ先＞  
最寄りの広域振興局土木部、土木センターまで

岩手県道路情報提供サービス  
PC向け：<http://www.douro.com/>  
スマホ向け：<http://www.douro.com/sp/>

# 「除雪功労者表彰」及び「若手技術者奨励表彰」の表彰式を実施しました！

県北広域振興局土木部 二戸土木センター

二戸土木センターでは、除雪作業にご尽力頂いている方への敬意を表すことを目的とした「除雪功労者表彰」及び「若手技術者奨励表彰」の表彰式を令和6年11月13日に実施しました！  
 表彰式では、**今回受賞された9名**の方への表彰状の授与等が行われたほか、表彰者の代表の方からご挨拶を頂きました。



【受賞者一覧】

除雪功労者表彰	
受賞者名	所属会社
柏葉 正典	昭和建設工業株式会社
尾形 昌昭	株式会社アルバライフ
田口 新悦	浄法寺増田建設株式会社
馬場 俊満	有限会社高崎土建
本木 勝則	平成建設株式会社
赤石 威頼	南建設株式会社



表彰状の授与

若手技術者奨励表彰	
受賞者名	所属会社
宮澤 朋嵩	昭和建設工業株式会社
岸井 宏幸	株式会社アルバライフ
堀内 幸治	浄法寺増田建設株式会社



表彰者代表挨拶

受賞された皆さま、おめでとうございます！

# 令和6年度 いわたの地域づくり・道づくりを考える大会 開催

岩手県道路整備促進期成同盟会主催

道路建設課

令和6年11月1日、花巻市内にて、**道路整備の重要性**や**緊急性**、**道路の利活用のあり方**について、関係する道路利用者や県民と広く共有するとともに、課題の解決に向けた支援や予算確保について、国及び関係機関に強く訴えかけることを目的として、**いわたの地域づくり・道づくりを考える大会**を開催しました。（主催：岩手県道路整備促進期成同盟会（会長：花巻市長）／共催：岩手県高規格幹線道路整備促進期成同盟会（会長：知事）、岩手県道路利用者会議（会長：盛岡市長）



【大会の様子】

大会には、共催者代表として**知事が初めて出席**したほか、じきはら直原 国土交通省道路局参事官（自転車活用推進）を始め、県選出国會議員や県内の市町村長、県議會議員、関係団体など約240人に御出席いただきました。

## ● 挨拶・祝辞

上田 花巻市長は主催者挨拶で、『**持続可能で質の高い地域づくりを実現していくため、高規格道路の暫定2車線区間の4車線化及びダブルネットワークの構築などについて、近年の資材価格などの高騰も踏まえた、継続的・安定的に、対策を進めるための予算を確保**できるよう強く要望していく』と述べました。

達増 知事は共催者代表挨拶で、『**「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策」について、その取組を計画的に推進するために必要な予算を確保すること、「5か年加速化対策」の完了後においても、国土強靱化実施中期計画を早期に策定し、必要な予算・財源を確保**することを国に強く働きかけていくことが重要』と述べました。

また、来賓の方々を代表し、横沢 参議院議員、木戸口 参議院議員、西村 国土交通省東北地方整備局長（代読：五十嵐 東北地方整備局道路部道路調査官）、工藤 県議會議長（代読：臼澤 商工建設委員会委員長）からそれぞれ祝辞をいただきました。



主催者挨拶  
上田 花巻市長

共催者代表挨拶  
達増 知事

来賓祝辞  
横沢 参議院議員

来賓祝辞  
木戸口 参議院議員

来賓祝辞  
西村 国土交通省  
東北地方整備局長  
（代読：同局道路部  
五十嵐 道路調査官）

来賓祝辞  
工藤 県議會議長  
（代読：臼澤 県議会  
商工建設委員会委員長）

大会では、「**道路行政をとりまく最近の情勢について**」と題して、直原 参事官から令和7年度概算要求の概要や道路行政の主要課題についての基調講演を、五十嵐 道路調査官から県内の道路整備状況についての講演をいただきました。

また、県内の道路を利用する3名の方から、それぞれの地域・分野における実情を踏まえた、道路の重要性や今後の利活用について意見を発表していただきました。

● 県内の道路を利用する業種の方々による意見発表



株式会社岩手ホテルアンドリゾート  
代表取締役CEO  
スザンナ・ウォン 氏

【テーマ】「安比・八幡平の観光振興に必要な不可欠な道路整備・利活用」

【主な発言内容】

本大会初！英語での意見発表

- お客様の多くが、自動車でのアクセスとなるため、**高速道路へのアクセス強化が大切。**
- **（仮称）八幡平スマートインターチェンジの事業推進に感謝**するとともに、**早期の開通を期待している。**
- 多言語に対応した道路標識や、歩道整備や無電柱化など、**より安全対策が施された道路の整備に期待している。**
- 観光エリア内で快適な周遊ができるよう、歩道や照明などの整備をすることに加え、自動運転の導入など**既存の道路の利活用**を進めていくことに期待。

【テーマ】「西和賀町における交通インフラと観光」

【主な発言内容】

- 西和賀町への観光客の大半は自家用車・バイクを利用しており、**西和賀町の観光において道路が重要な役割を果たしている。**
- **災害復旧工事や日々の道路メンテナンスに感謝**するとともに、**災害復旧工事の早期完成を期待。**
- 日本らしい風景・風習の残る東北では、セルフドライブによる観光が有効。
- **秋田自動車道の暫定2車線区間4車線化などが進むことで、**今後はより便利な**広域観光ルート**を形成することができる。



西和賀町観光協会  
会長 高鷹 政明 氏  
(株式会社山人 代表取締役)



東北汽船港運株式会社  
代表取締役社長  
細川 廣行 氏

【テーマ】「大船渡の進化に重要となる道路整備について」

【主な発言内容】

- 沿岸部と内陸部の間には北上山地がそびえ、**峠道が安全な通行を阻害しているとともに、長距離の移動を要することが課題。**
- 冬季間はスリップの危険が増加する。近年は豪雨による土砂崩れの危険もあり、**沿岸と内陸を結ぶ横軸となる、リダンダンシー道路、規格の高い道路が必要。**
- 道路整備により運搬時間が短縮されると、1日あたりの運搬往復可能回数の増加にも繋がり、**物流2024年問題解決の大きな手段となる。**

● 決議手交

最後に、佐藤 一関市長が決議(案)を読み上げ、大会決議が採択され、上田 花巻市長から横沢参議院議員に決議書を手交しました。

大会後には、11月11日及び20日に関係省庁等を訪問し、「**防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策**」に必要な**予算・財源の確保**や、「**国土強靱化実施中期計画**」の策定に**早期に着手し、令和6年度内に完了させ、必要な予算・財源を別枠で確保**することなどを要望しました。

県としては引き続き、市町村、関係者の皆様と連携し、安全・安心を支え、産業や観光振興の基盤となる社会資本の整備に向けて必要な**予算確保**に取り組んでいきます。



上田 花巻市長から  
横沢 参議院議員へ決議手交



# いわての流域下水道は50周年を迎えました

下水環境課・北上川上流流域下水道事務所・岩手県下水道公社

岩手県の流域下水道事業は、昭和45年の下水道法改正によって県が流域下水道として複数の行政区域にまたがる広域的な汚水処理を行うこととなったのに伴い、昭和49年に当時整備が進められていた盛岡広域公共下水道事業計画を引き継いでスタートしました。

昭和51年には北上川流域別下水道整備総合計画を策定し、北上川上流流域下水道（都南処理区、花北処理区、胆江処理区）の整備を進めるとともに、昭和57年には磐井川流域下水道（一関処理区）の整備を開始しました。その後も流域関連市町が実施する公共下水道事業とともに整備を進め、令和6年4月に鶯宿幹線（都南処理区）の完成・供用開始をもって全ての幹線整備を完了しました。

今年には流域下水道事業の開始から50周年となる節目の年となります。

## 各処理区の整備状況

流域下水道には4つの処理区があり、これら処理区域内の令和5年度末時点での下水道処理人口普及率は78%（全国平均93%）、処理人口は約54万人となっています。岩手県では、引き続き流域関連市町の公共下水道事業を支援しながら、汚水処理人口普及率の向上に取り組んでいます。

### 都南処理区（都南浄化センター）

昭和55年撮影



千田 岩手県知事



建設省  
流域下水道課長

昭和50年 起工式

- 昭和49年 事業着手、昭和55年 供用開始
- 対象市町：盛岡市、滝沢市、雫石町、矢巾町
- 最大水処理水量：開始時 40,000m<sup>3</sup>/日、現在 195,600m<sup>3</sup>/日

### 花北処理区（北上浄化センター）

平成8年撮影



- 昭和54年 事業着手、昭和62年 供用開始
- 対象市町：花巻市、北上市
- 最大水処理水量：開始時 2,800m<sup>3</sup>/日、現在 48,010m<sup>3</sup>/日

### 胆江処理区（水沢浄化センター）

平成8年撮影



- 昭和61年 事業着手、平成4年 供用開始
- 対象市 町：奥州市、金ヶ崎町
- 最大水処理水量：開始時 3,250m<sup>3</sup>/日、現在 22,700m<sup>3</sup>/日

### 一関処理区（一関浄化センター）

平成8年撮影



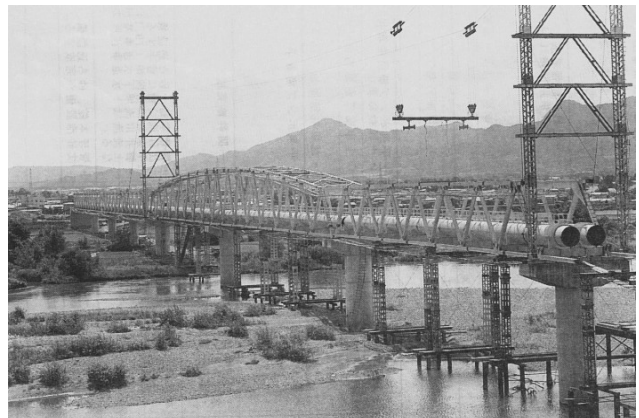
- 昭和57年 事業着手、平成2年 供用開始
- 対象市 町：一関市、平泉町
- 最大水処理水量：開始時 3,450m<sup>3</sup>/日、現在 13,400m<sup>3</sup>/日

### 流域下水道幹線の整備

流域幹線の整備は、昭和49年に中央幹線（中川汚水中継ポンプ場～都南浄化センター）の工事着手でスタートしました。これまでの整備延長は155.6kmで管径は最大2.6mとなっています。幹線整備は開削、推進、シールドの工法により行われ、河川横断部では水管橋が整備されています。



中央幹線のシールド工事（昭和53年頃）



建設中の雫石川水管橋（橋長438.6m）

### デザインマンホールの県庁敷地内への移設

流域下水道事業50周年を記念し、流域下水道への関心を持っていただく取組として、**流域下水道デザインマンホール蓋**を令和6年10月19日に**岩手県庁敷地内**に移設しました。

これまでは都南浄化センター（盛岡市東見前）に設置していましたが、**流域下水道マンホールカード**の配布場所となっているいわて・盛岡広域観光センター（盛岡駅）から遠く、実物をご覧になりたい方にご不便をおかけしてました。この移設によって、観光客などより多くの方々がデザインマンホールを目的にして市内へ足を運んでいただくことを期待しています。

※ マンホールカード：マンホールカードは実在するマンホール蓋の魅力を楽しく伝え、下水道への理解・関心を深めるためのコミュニケーションツールとして、下水道広報プラットフォーム（GKP）が全国の下水道事業を実施している地方公共団体と共同で発行しているものです。



マンホールカード



岩手県庁敷地内に移設したデザインマンホール蓋



配布場所：いわて・盛岡広域観光センター  
（盛岡駅2F南側）

配布時間：9:00～17:30  
（12月30日～1月3日を除く）

注意事項：原則、ひとり1枚の配布です。

設置場所：岩手県庁 正面駐車場南東側（公会堂側）

見学時間：いつでも自由にご覧いただけます。  
（土日祝日も立ち入り可能です）

注意事項：県庁敷地内への車の乗入れはご遠慮ください

### 50周年記念パネル展

**50周年記念**として、県庁1階県民室にて令和6年10月28日から11月8日までの期間、**流域下水道の50年を振り返るパネル展**を行いました。流域下水道整備の経過や浄化センターでの汚水処理の仕組み、汚泥処理過程で発生する消化ガスを活用した発電などのエネルギー有効利用、下水道の仕組みを解説するDVD上映などを行い、流域下水道事業への理解を深めていただく取組を行いました。



50周年パネル



県庁舎1階県民室でのパネル展



## 下水道の日の取組

「下水道の日」は、昭和36年に著しく遅れている国内の下水道普及向上に向けた取組を全国に展開するため、下水道を所管する建設省、厚生省、日本下水道協会がスタートさせ、9月10日がその日に定められました。

岩手県では、県下水道公社と共同で、下水道・浄化槽の普及啓発や流域下水道への理解増進を図るため毎年9月上旬にイベントを開催しています。今年も、都南浄化センターで**処理施設の見学会（下水道探検ツアー）**や汚水浄化に欠かせない微生物の顕微鏡観察など様々な催しを行いました。

イベントを通じて下水道の役割や仕組みを子どもと大人と一緒に学び、理解を深めることで、水や下水道の正しい使い方を知り、下水道の利用が促進されるよう取り組んでいます。



下水道探検ツアー



微生物の観察

## エネルギーの有効利用

下水処理工程では設備運転に大量の電力を使用するため、下水道事業は地方公共団体の事業の中で最もエネルギーを消費する事業と言われています。こうしたことから、岩手県では下水処理工程で発生するエネルギーを有効利用する取組も行っています。

都南浄化センターでは**汚泥消化タンクで発生する消化ガスを利用して発電**し、その電力を浄化センターで利用しています。また、発電設備から出る排熱は、汚泥消化タンクでの消化を促進するための加温用熱源として有効利用しています。北上浄化センターでは、**FIT制度（再生エネルギー固定価格買取制度）**を利用した**民営民設型の消化ガス発電事業**を実施し収入を得ることで、維持管理費の節減に役立っています。



消化ガスタンク（手前）と 汚泥消化タンク（奥）



ガスエンジン発電設備（北上浄化センター）

### 【おわりに】

下水道は都市の健全な発展に不可欠な公共インフラです。普段は目にすることが少ない下水道施設ですが、私たちは日々、点検や補修などの維持管理を行っています。これからも、安全・安心で快適な生活環境を維持していくため、老朽化対策など様々な課題に取り組んでいきます。

いわて花巻空港開港60周年記念事業

いわて花巻空港



スカイフェスタ2024 開催



～約1万2千人が空港の秘密に迫る～

花巻空港事務所

令和6年9月28日、いわて花巻空港において「スカイフェスタ2024」を開催しました。スカイフェスタは、空の日（9月20日）にちなんだイベントで、今年で28回目の開催となります。

当日は、来場された約1万2千人の方に、普段立ち入ることのできない空港の制限区域で、航空機や空港で使用する特殊車両と間近で触れ合ってください、空港への関心を高めていただきました。



会場の様子



防災ヘリコプター救助デモ



除雪車両展示

また、いわて花巻空港は、今年で開港60周年となりました。  
 スカifestaも60周年記念事業として、ステージイベントを実施したほか、デモンストラレーションや展示内容を例年よりボリュームアップして開催し、会場は大変な賑わいとなりました。



書道パフォーマンス



陸上自衛隊観測ヘリOH-1 デモフライト

【スカifesta2024の主な内容】

- ① アトラクション
  - ・ 防災ヘリコプターによる救助デモ
  - ・ 軽飛行機 F A-200 デモ
  - ・ 自衛隊観測ヘリ OH-1 によるデモ
  - ・ ステージイベント（鹿踊、チアリーディング、書道パフォーマンス）
- ② 体験・PR イベント
  - ・ 花巻市消防本部と空港消防隊コラボによる消防車両乗車体験
  - ・ 消防隊着せ替えコーナー
  - ・ タワー（管制塔）見学
  - ・ 花巻市建設業協会青年部による建設機械搭乗体験
- ③ 各種展示・PR ブース
  - ・ 機材展示（株オンリーユーエア、株パスファインダー、防災ヘリ、海保機材ほか）
  - ・ パトカー展示
  - ・ PR ブース（岩手県空港利用促進協議会、航空会社ほか）



軽飛行機 F A-200 による曲技飛行



建設機械搭乗体験



国内初公開！ホンダジェットエリートⅡ





# いわて花巻空港ターミナルビルエリアにおいて 自動ロボット草刈機の試験導入を開始！

花巻空港事務所

花巻空港事務所では、空港周辺緑地帯の維持管理（草刈）にかかる作業の省力化、担い手不足対策、コスト削減、空港業務DXなど今後の様々な取組につながる足掛かりとして、いわて花巻空港ターミナルビルエリアの一部において自動ロボット草刈機の試験導入を開始しました！

- 期間：令和6年10月1日から11月末まで（2か月間）
- 箇所：いわて花巻空港ターミナルビルエリア（正面ゲート南側・北側の緑地）

## <設置・動作状況>

	ターミナルビルエリア 南側	ターミナルビルエリア 北側
導入直後		
11月12日 現在		

今回試験導入した自動ロボット草刈機については、地元・花巻市に本社を持つメーカー様の製品となります。今年7月には和歌山県・南紀白浜空港内の着陸帯（滑走路隣接の緑地帯）において全国初の本格導入※を行い、ニュース等で大きく取り上げられたところです。

※ 空港内着陸帯における稼働は全国初

導入から1か月が経ちましたが、常に刈高が維持され良好な環境をキープしています。なお、電源については再生可能エネルギーを使用（太陽光パネルキットを併用）しています。（エネルギーフリー！）

2か月間で得られる情報や知見をもとに、将来的な空港内外における維持管理（草刈）への活用に向けて、検討を行っていただければと考えています。



# いわて建設業みらいフォーラム2024を開催しました

建設技術振興課

岩手県と一般社団法人岩手県建設業協会では、県民の安全で安心な暮らしに果たす建設業の役割や魅力を発信することで、**建設業のイメージアップ**を図り、**次世代を担う若者をはじめとした県民の建設業への理解や関心を高める**ことを目的に「**いわて建設業みらいフォーラム**」を平成25年度から開催しています。

今年度は、令和6年11月25日にトーサイクラシックホール岩手で開催し、**県内の高校生等約300名に参加**いただきました。また、当日のフォーラムの様子をYouTubeにより生配信し、より広く建設業の魅力を発信しました。

## オープニングトーク

司会者の千葉星子さんとコーディネーターを務めた県建設業協会青年部連絡協議会会長の木下伸一さんとの間で、地域における建設業の役割や業種などについて紹介しました。



## 第1部 技術者取組発表

続いて、第1部では県内建設企業で働く若手技術者2名から、仕事内容や初めての工事現場などについて発表いただきました。



▲ 佐々木昌市さん（㈱千葉建設）

最初の現場は建物の周りを整備する「外構工事」であり、その後、東日本大震災復興工事として、「盛土」や「土地の造成工事」などの現場を経験してきました。

土木工事は様々あるので、実際に現場に出ると、工事によってやり方・やることが変わります。

工事現場には多くの人に関わっていますが、最初は「この人は何をやる人なんだろう」「どんな風に作業を進めるのだろうか」とわからないことばかりでした。

先輩や職人さんの話を聞いて工事一つ一つの実務だけではなく、工事全体を見ることができるようになってきました。



▲ 千葉永遠さん（高惣建設㈱）



## 第2部 パネルディスカッション

パネリストとして、取組発表をさせていただいた佐々木さん、千葉さんに加え、藤井夏子さん（㈱小原建設）と藤島里帆さん（岩手県北上土木センター）が参加し、コーディネーターの木下伸一さんと建設業の面白さや労働環境などをテーマにパネルディスカッションを行いました。

私が勤める会社の建築を担当する現場代理人は10人いますが、うち2人は女性です。  
現場代理人は男性でも女性でもなれる職種と感じています。



▲ 藤井夏子さん（㈱小原建設）

## 第2部 質問コーナー

参加者を代表して、盛岡工業高校の生徒7名からパネリスト・コーディネーターに対して、建設業で働くうえでの疑問に関する質問がありました。

盛岡工業高校の生徒



一緒に働いたら、元気があり、コミュニケーションがとれる人がいいと言われていますが、具体的に教えてください。

聞こえる声で挨拶をすることが一番だと思います。  
その他に気を付けていることは、顔を上げて話を聞くことと頑張っている姿勢を見せることです。



▲ 藤島里帆さん  
（岩手県北上土木センター）

## ロビー展示

会場ロビーでは県内建設会社による企業紹介ブースやけんせつ小町部会による相談コーナー、ICT建機メーカーによる体験展示が行われました。

参加者は各ブースを積極的に見学し、県内の建設企業について学びを深めていました。



# 令和6年度「建設業地域懇談会」を開催しました

建設技術振興課

例年、建設業の振興と公共事業の円滑な執行に資することを目的として、建設業協会の支部のある地区において、**岩手県と建設業団体による懇談会を開催**しています。

今年度は7月11日の一関地区を皮切りに、10月30日の北上地区まで**全13地区で開催**しました。

建設業地域懇談会でいただいた御意見は、県の施策の検討に活用していきます。

## 1 意見交換の議題

- (1) 「**いわて建設業振興中期プラン2023**」について  
(担い手確保の取組、働き方改革の取組、生産性向上の取組)
- (2) **労働時間の上限規制の対応状況**
- (3) 情報提供（盛土規制法について）

## 2 主な意見の内容

建設業団体からの意見では、「**総合評価落札方式**」に関するものが最も多く、そのほか、「**建設投資額の確保**」や「**週休2日工事**」等に関する意見も多数寄せられました。

- ① 仕事量がなければ、建設業が魅力ある業界とならず、衰退していく。災害対応もできなくなり、地域の守り手として活動できないため、建設投資額、仕事量の確保をお願いしたい。
- ② 週休2日工事の取組を民間工事へ拡大するように働きかけて欲しい。建設業界として担い手確保のためにも週休2日が前提となるように取り組んでいかなければならない。

## 3 主な意見に対する県の回答

岩手県からは、各意見に係る現在の取組状況や今後の対応等について、回答しました。

- ① 建設投資額の確保は「**いわて建設業振興中期プラン2023**」の各施策の土台としており、引き続き国に対して要望しながら、岩手県として必要な事業量を確保していきたい。  
県内には、国土強靱化対策をしなければならぬ箇所もあり、国土強靱化対策による効果や必要性を訴えながら、公共事業予算の確保を要望していく。
- ② 県発注工事は原則週休2日工事としている。担い手の確保に向けて、業界全体が働きやすい環境、若者に選ばれる環境を作っていかなければならない。

### 地域懇談会の様子



久慈地区（令和6年8月28日）



北上地区（令和6年10月30日）

# 鳥インフルエンザ等発生時対応訓練を実施しました

県南広域振興局土木部 一関土木センター

令和6年10月16日、高病原性鳥インフルエンザ等の特定家畜伝染病が発生した際の防疫活動を円滑に支援するため、地域における防疫体制の強化を図る目的で、一般社団法人岩手県建設業協会一関支部及び岩手県県南家畜保健衛生所と共に訓練を実施しました。

「岩手県鳥インフルエンザ等発生時対応要領」に基づき、土木センターは埋却・消毒ポイント設置班、建設業協会は、県と締結した「家畜伝染病における緊急対策業務に関する協定」に基づき、重機・資機材の調達・斡旋や家畜の埋却作業等に従事することとなっています。

訓練では、鳥インフルエンザの発生を想定し、防護服着脱、埋却作業（シート敷設、フレコンバック投入、消石灰散布等）を実施しました。

約80名が参加し、埋却作業の実施手順等を確認しました。

県、建設業協会支部及び関係機関では、家畜伝染病の発生に備え、迅速かつ適切に防疫活動を実施できるよう、実動訓練を通じ、防疫対応の体制整備等に努めています。

防疫対応作業について、県民の皆様の御理解と御協力をお願いします。

## 🐦 令和6年度鳥インフルエンザ等発生時対応訓練（一関地方支部実動訓練）実施状況 🐦



防護服着用訓練



埋却訓練（シート敷設）



埋却訓練（フレコンバック投入）



埋却訓練（消石灰散布）

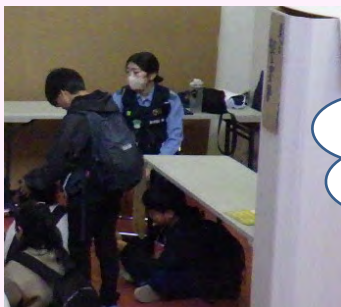
## 建設業担い手確保の取組

# 「みやっこタウン」に出展しました！

沿岸広域振興局土木部 宮古土木センター

### 「みやっこタウン」とは・・・

- みやっこタウン実行委員会（事務局：NPO法人みやっこベース）が主催する小学生向け社会・就業体験イベント
- 単なる就業体験ではなく、架空の「まち」を舞台とした社会体験プログラム



就業体験だけではなく、  
お金、税金、大学、選挙  
などを学ぶ『社会学習』



みやっこタウンのFacebookはコチラ ⇒ <https://www.facebook.com/MiyakkoTown/>

「建設業の担い手確保」として、  
宮古土木センターで、  
「小学生が建設DXを体験」する  
ブースを出展したものです。

そくりょう

## みやっこ 3D測量

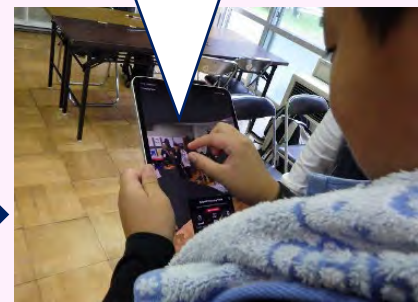
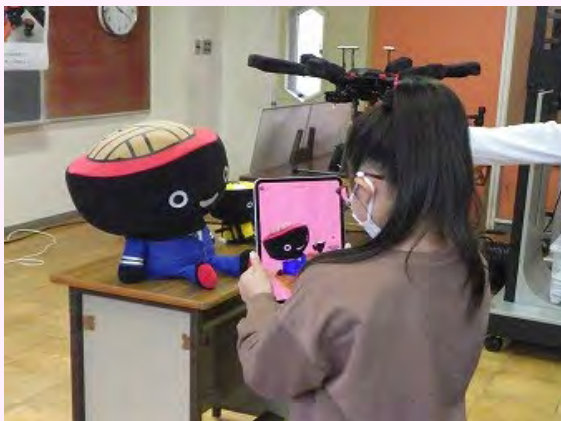
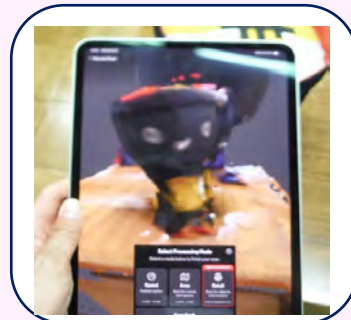
けんせつぎょう  
建設業  
建設業で使う  
「3Dモデル」を作ってみよう

作った「3Dモデル」  
が、工事に使われます。



他にも、例年、岩手県建設業協会宮古支部青年部も「みやっこ建設」として建設業をPRするブースを出展しています。

※ 今年度は雨で中止



iPadを使って、自分で撮った写真から、  
3Dモデルを作る体験をしてもらいました。  
「3D測量は一周回っただけで全体が  
撮れて『すごい』と思いました。」などの  
うれしい感想もいただきました。

ドローン体験も併せて行いました。



※ (株)アースデザインコンサルタンツ様に御協力いただきました。